# 環境負荷低減型 超ハイテン線材

社会インフラ・建設分野においては、

安全性の確保、建設費の削減に加え、

高強度化・生産性の向上が常に求められております。

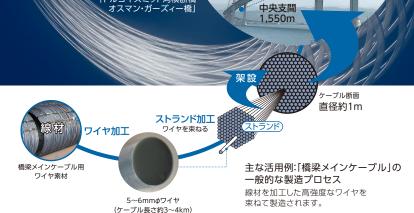
日本製鉄では、そのようなニーズにお応えすべく、

環境対応力に優れた当社独自プロセス(DLP)を活用し、

世界最高強度を実現した超ハイテン線材を開発・商品化しました。



本製品の開発にて、「第47回(平成26年度)市村産業賞本賞」、 「平成28年度全国発明表彰/日本経済団体連合会会長賞」に続き、 「第65回(平成30年度)大河内記念生産賞」を受賞いたしました。

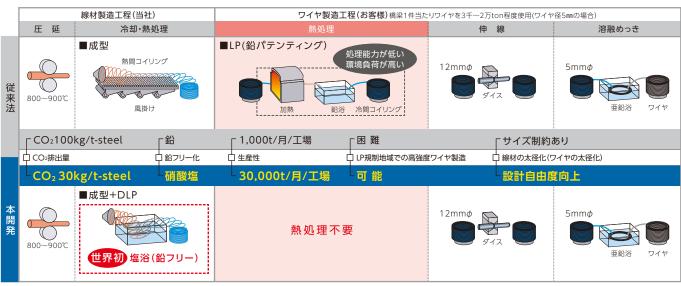


超ハイテン線材実用例

「トルコイズミット湾横断橋 、オスマン・ガーズィー橋 |

メインケーブル

当社独自プロセス(DLP)は従来法と比較して、 お客様の工程を省略し、生産性の向上、環境負荷の低減を実現しました。



#### DLPプロセスとは

L P: Lead Patenting(鉛パテンティング)

DLP: Direct in Line Patenting

日本製鉄が開発した世界で唯一の鉛パテンティング処理と同等の恒温熱処理ができるインライン熱処理プロ セスです。DLPプロセスは生産性や環境対応力に優れた製法で、強度・靭性・延性のバランスに優れた線材の 製造が可能です。



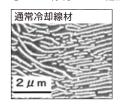


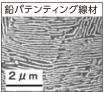
## DLP®線材の特徴

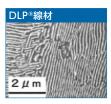
DLP®線材はお客様で実施されている鉛パテンティング処理を省略することが可能な省エネルギーで環境対応に 優れた線材です。当社の高強度で環境に優しい開発商品は、特に高強度かつ高延性が求められる用途において、 その真価を発揮します。

■DLP®線材は圧延処理の過程で微細で均一な組織が得られるため、引張強度と延性のバランスに優れていることが特徴です。

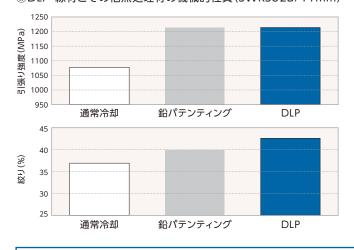
#### ①DLP®線材とその他熱処理材の組織



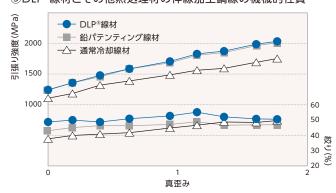




#### ②DLP®線材とその他熱処理材の機械的性質(SWRS82B/11mm)



#### ③DLP®線材とその他熱処理材の伸線加工鋼線の機械的性質



#### ④ワイヤロープ素線のねじり試験

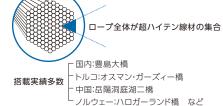




### 主な用途例



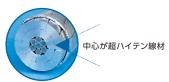




ストランド断面積(イメージ)

#### 送電線

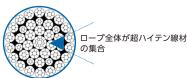




鋼線の高強度化により、従来電線よりも中心の鋼断 面積を小さくできるため、導電部(アルミ部)を拡大 させ、結果として電力損失を10~30%低減させる ことが可能です。

#### クレーン用ワイヤーロープ





ンの巻き上げ索など、安全面、強度面 から高い安全性が要求される、吊り上げ用ロープで 使用されます。

〈ご注意とお願い〉本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料 に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報に、今後予告なして変更される場合がありますので、ご了承ください。本資料に記載された以る情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当 社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登

◇SteeLinC®は日本製鉄棒線事業部門の事業ブランドです。

日本製鉄株式会社